

とよはし 市議会 だより



みんなの？を、みんなの！に

R2
8/1
No.325



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、豊橋市議会ではこれまでさまざまな対応を取ってきましたが、6月定例会では定例会ならではの取り組みも行いました。議場では、傍聴扉を含む全ての扉を写真のように開けた状態で会議を行いました。また、議席の一部変更を行い、議員発言席との距離を離すようにしました。



傍聴に関するお願い

新型コロナウイルス感染症拡大防止をさらに徹底するため、当面の間、以下のとおりとさせていただきますので、みなさまのご理解・ご協力をお願いいたします。

1. 傍聴される場合には、極力マスクを着用していただき、議場及び委員会室の傍聴席入口に設置されているアルコール消毒液を使用の上、入場してください。

その他一般質問や委員会においても、感染拡大防止のため、新たな取り組みを行いました。

14ページの特集で新たな取り組みをご紹介します。

6月定例会の概要

委員会の調査・研究事項	02
審議結果	03
一般質問	04-13
特集・次回定例会開催予定	14



豊橋市議会
傍聴席入口



令和2年6月定例会の概要

とよはし市議会は、    の年4回、定例会を行っています。

6月定例会では、 豊橋市のこんなことが決まりました。



6月定例会

議案審議

会期 6月8日～19日（12日間）

6月定例会の議案は
市長提出議案…15件
議員提出議案…5件
合計20件

一般会計予算の 補正を行います

議案

令和2年度豊橋市一般会計補正予算（第5号）

概要

歳入・歳出をそれぞれ28億7024万3000円増額するものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・自治体行政スマートプロジェクトの推進
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費補助金
- ・Web合同企業説明会開催事業費
- ・豊橋イーエルチケット補助金
- ・小中学校コンピュータ活用事業費

議案

令和2年度豊橋市一般会計補正予算（第6号）

概要

歳入・歳出をそれぞれ7億3976万5000円増額するものです。

主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・新型コロナウイルス感染症対策相談支援窓口事業費
- ・ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業費
- ・里帰り困難妊産婦育児等支援事業

委員会の調査・研究事項

委員会では議案審査だけではなく、市民生活に関わる課題について調査・研究を行っています。
今回の常任委員会では、令和2年度に調査・研究を行う項目が決定しました。

総務委員会

- ・南海トラフ地震臨時情報発表時における本市の対応について
- ・行財政改革プラン2021（仮称）について
- ・施設再配置計画（仮称）の考え方について
- ・豊橋市シティプロモーション推進計画（仮称）の策定について
- ・第3次市民協働推進計画の策定について
- ・文化振興指針後期アクションプランの策定について
- ・「スポーツのまち」づくり推進計画（仮称）の策定について
- ・多目的屋内施設の基本計画に向けた基礎調査の最終報告について

福祉教育委員会

- ・児童相談所設置を含めた児童相談体制検討のとりまとめについて
- ・第2次教育振興基本計画の策定について
- ・第4期地域福祉計画の策定について
- ・第8期高齢者福祉計画の策定について
- ・第3次豊橋市民病院改革プランの策定について

環境経済委員会

- ・環境基本計画の策定について
- ・地域新電力事業の事業化可能性調査について
- ・港湾技能研修センターの利活用の考え方について
- ・廃棄物総合計画の策定について
- ・第2次地球温暖化対策地域推進計画の策定について
- ・豊橋田原ごみ処理施設整備計画の策定について

建設消防委員会

- ・上下水道ビジョン（2021-2030）の策定について
- ・都市計画マスタープランの改定について
- ・景観計画の策定及びまちづくり景観条例の改正について
- ・豊橋駅周辺地区市街地総合再生基本計画について
- ・建築物耐震改修促進計画の策定について
- ・中心市街地活性化基本計画の策定について
- ・自転車活用推進計画の改定について
- ・都市交通計画中間見直しについて
- ・とよはし緑の基本計画の改定について

*調査・研究事項は予定であり、委員会を開催しない場合もあります。委員会開催の際は、ホームページなどでお知らせします

令和2年6月定例会 審議結果

○=賛成 x=反対

件名	議決結果	会派名()内は所属議員数								
		自由民主党(20)	公明党(5)	まちなフォーラム(4)	日本共産党(3)	紘基会(1)	元輝会(1)	豊橋だいき会(1)	みんなの議会(1)	
補正予算	・令和2年度豊橋市一般会計補正予算(第5号) ・令和2年度豊橋市一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
条例	・豊橋市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市新型コロナウイルス感染症対策基金条例 ・豊橋市市税条例等の一部を改正する条例 ・豊橋市税外収入に係る延滞金に関する条例及び豊橋市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 ・豊橋市保健所及び保健センター条例の一部を改正する条例 ・豊橋市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	・工事請負契約締結について(3号炉維持整備工事) ・物品購入契約締結について(豊橋市民球場非常用発電機) ・物品購入契約締結について(ごみ収集車) ・物品購入契約締結について(災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車) ・物品購入契約締結について(災害対応特殊救急自動車)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○
	・人権擁護委員候補者の推薦について	異議はない	○	○	○	○	○	○	○	○
	・農業委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出	・豊橋市議会議員の議員報酬の特例に関する条例 ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増額等を求める意見書 ・愛知県内高等学校・中学校の運動・文化・芸術等の愛知県大会開催の検討を求める意見書 ・浜松三ヶ日・豊橋道路(仮称)の早期実現を求める意見書 ・名豊道路(豊橋バイパス・豊橋東バイパス完全4車線化)建設推進に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○

■■陳情■■ 9件の陳情を受理し、当局において慎重に検討し処置されるよう要望することに決定しました。

- ・豊橋市図書館基本構想とまちな図書館開館1年前の諸課題に関する陳情
- ・最低賃金の引上げ、全国一律最低賃金制の確立を求める意見書の提出を求める陳情
- ・公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情
- ・正規労働者が当たり前、安定した雇用と1日8時間の労働で暮らせる社会を求める意見書の提出を求める陳情
- ・住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情
- ・地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情
- ・沖縄県民の民意を真摯に受け止め、地方自治を尊重し、辺野古の新基地など米軍基地建設の中止を求める意見書の提出を求める陳情
- ・障害・介護福祉に従事する職員や保育士の人材定着・確保のため職員配置基準と報酬・公定価格を抜本的に改善し、離職しない障害・介護・保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情
- ・消費税率5%への引き下げを求める意見書の提出を求める陳情

一 般 質 問

市政の課題は？

一 般 質 問

(6月定例会では18人の一般質問が行われました。)

一 般 質 問

関わる大切な内容について、市議会議員が市長などに対して、疑問を問いたすものです。豊橋市では年4回の定例会でのみ一般質問を行うことができます。

市議会だよりでは、本会議の質問・答弁の要旨を、各議員が選んだ1項目ずつ掲載します。

詳しい内容は、市議会ホームページから会議録や録画中継でご覧いただけます。



※紙面の都合上、タイトル及びその他の質問項目にて、「新型コロナウイルス」「新型コロナウイルス感染症」を「新型コロナ」に表記を統一しています。

タイトル	氏名	ページ
まちなか広場（仮称）基本計画について	寺本 泰之 議員	05
学校再開後の児童生徒の心のケアについて	川原 元則 議員	05
コロナ禍にすべき観光振興とエール効果について	伊藤 篤哉 議員	06
ヤングケアラーに対する認識と取り組みについて	梅田 早苗 議員	06
コロナ禍の下での高齢者の現状と課題について	鈴木みさ子 議員	07
小中学生の学びの保障と健康管理について	古池 もも 議員	07
コロナ禍の経験を活かした情報発信について	小原 昌子 議員	08
新型コロナによる学校教育活動の影響について	本多 洋之 議員	08
学校再開後の小中学校における諸課題について	斎藤 啓 議員	09
コロナ禍及び、終息後の産業支援について	二村 真一 議員	09
結果にコミットする行政計画について	豊田 一雄 議員	10
スポーツのまちづくりについて	尾崎 雅輝 議員	10
佐原市長の退職金3142万円について	長坂 尚登 議員	11
新型コロナとの共存を見据えた総合計画について	沢田都史子 議員	11
新型コロナに影響された飲食店への対応について	石河 貫治 議員	12
コロナ禍における本市の業務継続について	山本賢太郎 議員	12
第2波等、再拡大に備えた医療体制について	廣田 勉 議員	13
新型コロナの影響を受けた市民への支援について	中西 光江 議員	13



まちなか広場(仮称) 基本計画について



紘基会
寺本泰之 議員

動画で
チェック!!



問 豊橋市は風が強い地域であり、たご揚げにはいいと思うが、まちなか広場(仮称)を通り抜けるビル風の強さはかなりのものになると推測できる。

答 風環境シミュレーションにおける風洞実験(風環境実験)報告書の評価の認識と、基本計画実施に対する考えについて聞きたい。

問 風洞実験は、豊橋駅前大通二丁目地区市街地再開発組合が、再開発に伴い、再開発区域内外の風環境の変化を把握するために実施したものです。実験は、第三者機関の一般財団法人日本建築総合試験所で行われており、結果は信頼できるものであると認識しています。

答 本市は、冬場を中心に北西の季節風が強い地域であり、駅前大通二丁目地区およびその周辺も同様の傾向となっています。実験では、再開発ビル建設後、建築物からの吹き下ろしや東棟と西棟の谷間風により影響を受ける風があると分かり、広場空間の中で常

緑樹を設置する防風対策が有効であるとの結果を得ています。

他方、風環境評価に用いた風の観測データは大気環境測定目的のものであり、風速について、毎秒10メートルを超える風を10メートルとして計測すればよいデータを一部で使用していたことから、実験で使うには適切ではないと再開発組合が判断し、風の観測データを変更して、再度風環境評価を行うことにしたと報告を受けています。

現地の状況を的確に再現した実験で、風の傾向を把握することができていることから、まちなか広場(仮称)の基本的な設計の変更は必要ないと認識しています。が、今後、再開発組合からの報告書の内容を確認し、改めて評価していきたいと考えています。



学校再開後の児童生徒の 心のケアについて



元輝会
川原元則 議員

動画で
チェック!!



問 不登校、又は不登校が心配される児童生徒の現状について聞きたい。

答 学校が再開した5月25日からの1週間の出欠席を調査したところ、昨年度、不登校傾向のあった子どもたち約400名のうち、小学校では47%、中学校では40%の子どもが、休まずに登校できています。

問 部活動における中学3年生への対応について聞きたい。

答 長い期間、練習ができていないことや、夏休みが授業日となり部活動の時間が確保できないこと、また、夏の暑さ等を鑑み、子どもの安全を最優先に考え、夏の市内大会について中止することを決定しました。

ただし、中学3年生の部活動が不完全燃焼で終わってしまうことへの配慮は必要と考えており、各学校で部活動を通して学んだことや成長したこと、仲間との出会いなど、部活動の教育的価値を再確認し、思い出を共有できるよ

う、「終わり方」について知恵を絞っています。

問 短縮された夏季休業中の宿題や課題への配慮を聞きたい。

答 夏季休業が16日間という短い期間になったので、長い休みを利用して取り組んでいる自由研究やポスター、読書感想文などの作品募集は、児童生徒の自主的な取り組みとすることを、既に各学校に伝えていきます。

また、各学校で出していた各教科の宿題や課題については、子どもたちの過重負担とならないよう依頼をしていきます。

問 課題をなくさずに、あえて自主的とした理由を聞きたい。

答 絵や作文などの表現活動に意欲的で、作品募集を励みにしている子どもも大勢いますので、発表の場を保障するためにも、自主的な取り組みとして行うこととしました。

その他の質問項目

・南海トラフ地震臨時情報発表時における本市の対応について

一 般 質 問

コロナ禍にすべき観光振興
とエール効果について



自由民主党豊橋市議員
伊藤篤哉 議員



動画で
チェック!!

問 感染防止と観光が両立する域内需要の創出と、「エール」効果を生かすなど、国内のコロナ収束後に国内観光のV字回復を狙った大胆な対策への本市の役割について聞きたい。

答 観光産業は裾野が広い産業であり、本地域の産業を維持するために、観光産業への支援はとても重要です。国や県の支援事業を最大限活用し、安心・安全に旅行ができる環境を整え、感染症への不安を極力取り除きながら観光を楽しめる取り組みを進めたいと考えています。

エールは、人々の心に訴える力のあるパワーワードであるとともに、一般に浸透している言葉なので、長期的なプロモーションが可能です。民間が行う「エール」関連の商品開発をはじめ、関係都市との連携や、エールを送るまち豊橋としてプロモーション活動を行い、この地域に関係を持つ関係人口を増やし、地域の活性化につながるということが重要と考えていま

す。

問 関係人口を増やす具体的な取り組みについて聞きたい。

答 情報発信のほか、実際に豊橋市を感じてもらうことも必要です。地域の魅力を掘り起こし、磨き上げて生まれたコンテンツを活用した体験型イベントなど、域外の人が興味を持つきっかけになる機会を提供し、本市のファンをつくることに関係人口の創出につながると考えます。

問 「エール」を生かした定住人口増加の考え方を聞きたい。

答 エールという言葉が聞く機会が増える中、誰をも応援するまちというプロモーションを展開するチャンスであると考えています。この機会に、豊橋ならではのライフスタイルをしっかりとPRし、定住人口の増加につながると考えています。

その他の質問項目

・コロナ禍を踏まえ、本市が今すべき大規模災害に対する備えへの認識と対応について

ヤングケアラーに対する
認識と取り組みについて



公明党豊橋市議員
梅田早苗 議員



動画で
チェック!!

問 ヤングケアラーに対する本市の認識と現状について聞きたい。

答 ヤングケアラーは、本来、大人が担うべき家事や家族の世話が子どもにとって過度な負担となっていることが問題で、子ども自身の思いや希望をしっかりと把握し、子どもの視点に立った支援が必要であると認識しています。

本市の現状については、複合的な課題により生活実態が見えにくい家庭や、子ども自身の自覚がない、恥ずかしさから隠そうとする場合など、実態を正確に把握することは難しい状況にあり、ココエールに寄せられる相談の中でヤングケアラーの状況が判明する場合があります。

問 本市のヤングケアラーへの課題と今後の取り組みについて聞きたい。

答 ヤングケアラーを支援していくためには、ヤングケアラーである子どもを発見しやすい立場

にある支援者がヤングケアラーについて理解することが重要であり、そのための周知が課題であると考えています。その上で、ヤングケアラーかもしれないという視点を持つて子どもがケアしている内容の程度や頻度、家庭状況を把握し、子どもの健やかな成長や生活、教育などへの影響に気付くことが必要となり、この気付きから要保護児童対策ネットワーク協議会を活用した関係機関との更なる連携が必要であると認識しています。

今後の取り組みとしては、ヤングケアラーの認知度を高め、支援の必要性に対する理解を進めるために、研修の機会などを通じて周知・啓発するとともに学校、教育委員会との情報共有に努めていきます。

その他の質問項目

・新型コロナ拡大の影響を受けた本市の外国人市民に対する取り組みについて



コロナ禍の下での高齢者の現状と課題について



日本共産党豊橋市議団
鈴木みさ子 議員



動画で
チェック!!

問 豊橋市の高齢者世帯は5世帯に1世帯、そのうち一人暮らし世帯は6割弱に上っている。新型コロナウイルスによる外出の自粛により、高齢者の心身に及んでいる影響をどう捉え、どう対応していくかについて聞きたい。

答 自宅で長い時間を過ごすことで、生活が不活発になり、生活・認知機能の低下を招き、フレイルなどにつながるおそれがあると考えています。

緊急事態宣言の解除後、老人福祉センターや老人憩の家などについては三密を回避し、十分な感染予防策を利用者にもお願いし再開しています。イベントや各種講座、老人クラブなどの活動についても、徐々に再開に向けて動き出しています。

外出機会の増加に向けて、高齢者の活動の場やきっかけを用意していきませんが、積極的に外出してもらおうにはどうしたらよいか、関係機関と協議しながら進めていきたいと考えています。

問 孤立世帯をなくし、高齢者世帯を取り残さない市の取り組みについて聞きたい。

答 コロナ禍において、地域包括支援センターでは、特に気掛かりな高齢者やまちの居場所活動の参加者などを対象として、自宅への訪問や介護予防チラシの投函、電話などにより見守りを実施してきました。民生委員も、見守りが必要な方への声掛けを続けています。取り組みの中で把握した課題については、適切な支援につながることも、関係者と連携して解決を図っていきます。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、高齢者の生活の変化を注意深く見極めながら対応を図っていく必要があると考えています。

用語解説 フレイル

健常から要介護へ移行する中間の段階

その他の質問項目

・新型コロナウイルスに伴う支援を、必要とする市民が利用できる体制や情報提供について

小中学生の学びの保障と健康管理について



とよはし みんなの議会
古池もも 議員



動画で
チェック!!

問 熱中症と感染症への対策において、子どもの健康状態に合わせた対応の認識について聞きたい。

答 既往症のある子どものように、配慮すべき個人の特性を持つ子どもへの対応については、個別の事情に応じた対応を柔軟に行うことが大切だと認識しています。その際、保護者と連携し、子どもの安全を最優先に考えて対応していきます。

問 現在、やむを得ず登校できない子どもの家庭学習に通知表の評定を付けることは難しい。GIGAスクールなどICT環境が整った後の学習評価について聞きたい。

答 学校に登校できない子どもがオンラインで学校とつながり、教師の支援を受けながら学習に取り組めた場合、その成果を認め、何ができるようになったかを適切に評価することは必要です。今後、学校や家庭でのICTの活用環境が整えば、学習の形態はこ

れまでより多様になると思われますので、本人の努力を認める場面は広がると考えています。

学校に登校できない子どもは、自宅で不安な気持ちで過ごしていると思いますので、次への目標や意欲を引き出せるような言葉掛けによる温かみのある評価をしていくことが大切だと考えています。

問 Zoomなどを使った双方の交流で期待される効果について聞きたい。

答 顔の見える対面交流は、担任教師との人間関係もあると思います。子どもにとっては教師とのコミュニケーションの場が保障されることになり、安心感や学校・学級への帰属感を生み出す効果が期待できると考えています。

一般質問

コロナ禍の経験を活かした 情報発信について



自由民主党豊橋市議団
小原昌子 議員



動画で
チェック!!

問 今回の新型コロナウイルス感染症に関する情報発信に当たり、見えてきた課題を踏まえ、今後の方向性について聞きたい。

答 情報を発信するに当たっては、必要な情報を市民一人一人に正しく早く伝えることで市民の行動の変化を促し、支援策をスムーズに利用していただけるよう、実際に効果のある発信が必要であると考えています。

この機会に改善した、動画への字幕や手話通訳への追加対応に加え、多文化共生フェイスブックでの小まめな情報発信などについては、今後とも継続していきま

す。また、ホームページについては、情報を整理するとともに、デザインの改善を行い、市民が必要とする情報を見つけやすくするほか、掲載内容を分かりやすい表現に統一するなど、スマートフォンでの利用増加を見据え、全体の見直しを図っていきます。

さらに、今後も研修などを通

じ、情報発信のガイドラインである「豊橋市広報広聴戦略プラン」をしっかりと庁内で共有するとともに、今回の経験を生かした内容の見直しを行いながら、各課の情報発信に対する更なる意識の向上とスキルアップを図っていきます。

また、市民への情報伝達に偏りが生じることのないよう、インターネットを中心として広報紙やコミュニティラジオ、報道機関など多様な広報手段を用いるとともに、節目に発信してきました市長による市民や小中学生に向けたメッセージなど、今後も市民目線に立った分かりやすい、効果的な情報発信を行っていききたいと考えています。

その他の質問項目

・レジ袋有料化の現状と今後の義務化について

新型コロナウイルスによる 学校教育活動の影響について



自由民主党豊橋市議団
本多洋之 議員



動画で
チェック!!

問 長期にわたる休業で不足した授業時間の確保について聞きたい。

答 教育委員会として夏休みの短縮を全市一斉に進め、8月1日から8月16日までを夏休みとし、それ以外を授業時間に充てていきます。また、教員の出張や研修の回数を削減し、資料送付に代えるなどの方法により、1時間でも多くの授業時間を確保できるようにしています。

さらに、各学校では、行事を精選したり、1単位時間を短くして7時間授業を組んだりして、授業時間を生み出す工夫をしています。

なお、現在のところ、土曜日や冬休みに授業を行わなくても、児童生徒や教職員の負担にならないよう配慮しながら、授業時間数を確保することは可能であると考えています。

問 児童生徒の学校生活における感染防止対策について聞きたい。

答 子どもたちや教職員を感染症から守ることは最も優先されるべきことであると考えています。教育委員会としては、「新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」を作成し、各学校に配付しました。マニュアルの中には、「クラスターの発生リスクを下げるための3原則を守る環境づくり」として、大きな項目を四つ示しています。

一つ目は、手洗いの徹底やマスク着用などの基本的な感染防止対策。二つ目は、教室の換気や間隔を意識した座席の工夫。三つ目は、けが人と体調不良者を分けるなどの保健室利用の工夫。四つ目は、多くの児童生徒が手に触れる箇所をはじめとする消毒の実施についてであり、これらを通して、感染防止のための環境づくりを進めています。



学校再開後の小中学校に おける諸課題について

問 「人格の完成」という教育の目的に照らした、教育活動の適切な展開について聞きたい。

答 本市が目指す教育は「生きる力を磨き深めること」であり、子どもと教師、子ども同士の関わり合いなどを通して行われるものです。行事などの教育活動は、感染拡大防止の観点から制限せざるを得ませんが、子どもの健康や安全を最優先に考え、実施の方法を工夫し、可能な限り体験することを通して関わりが深まる価値ある教育活動が展開できるように配慮し、知徳・体のバランスの取れた子どもを育てるべきと考えています。

問 授業数を確保するために7時間目の設定もあると聞いていますが、学業が過剰にならないような配慮の必要性について聞きたい。

答 授業時間を短縮した上での時間割編成が考えられるという文部科学省の通知を受けて、7時間目の設定をする学校では、始業



日本共産党豊橋市議団
齋藤 啓 議員



動画で
チェック!!

時刻と終業時刻が6時間目のときと大きく変わらないようにし、適切に休み時間を取り、心と体の負担が少なくなるような配慮をしています。

問 感染防止の観点から、1クラス当たりの児童生徒数を減らした学級編成にするという考えについて聞きたい。

答 中学校の数学や英語、小学校の算数において、学級を二つに分けて少人数の指導を行っている学校もあります。1クラス当たりの児童生徒数を少なくすることは、三密防止と、一人一人に行き届いた支援が可能になるという効果があると認識しています。が、教室や教員の数が足りないこと、エアコンが設置されていない特別教室があるなど、多くの課題があるため、限られた条件の中での実施にとどまっているのが現状です。

その他の質問項目

・新型コロナウイルス対策事業の財源確保の考え方について

コロナ禍及び、終息後の 産業支援について

問 新型コロナウイルスの感染拡大防止に伴い多くの施設が営業の自粛を余儀なくされた。経済対策においても、直接的に支援を受けることができた企業がある一方、支援から漏れた業種や大きな経済的打撃を受けた企業も多く、間接的に経済損失を受けた企業並びに就業者等に対する今後の支援の在り方について聞きたい。

答 休業要請に対する協力の金の支給状況によると、市内飲食店約1200店舗、学習塾等が約300店舗、その他生活必需品でない商業施設が約400店舗と、大変多くの店舗が休業または営業時間短縮を実施しました。また直接休業をしていなくても、こうした店舗と取り引きがある事業者についても影響が相当出ていると考えられます。

このような事業者への支援については、国の持続化給付金や融資制度、市の賃料補助金等の活用により事業継続を図ってほしいと考えますが、何よりもこれまで

事業活動を縮小していた飲食店や小売店等の消費をいかにして増やし、物流を促すことが重要であると考えています。

今後も、県や市でも予定している需要喚起策の成果が地域経済の再生化につながるよう、官民が連携して継続的な経済対策を進めていく必要があると考えています。

問 需要の急減に見舞われた農産物への影響と生産農家に対する支援について聞きたい。

答 大葉をはじめとするつまものや花きの需要が大きく減少し、市場価格も低下しています。このような大変厳しい状況は当面続くものと認識しています。このため、生産者がどのような状況に置かれているのかといった実情や市場の動きの把握に努めるなど、農業全体の状況の推移を注視するとともに、国や県の施策の情報収集を図り、的確な支援策を講じていきたいと考えています。

自由民主党豊橋市議団
二村真一 議員



動画で
チェック!!

一般質問

結果にコミットする

行政計画について



自由民主党豊橋市議団
豊田一雄 議員



動画で
チェック!!

問 社会環境や自然環境が大きく変わりつつある中、行政計画が結果にコミットすることの重要性について認識を聞きたい。

答 市民の負託を受け計画を推進する行政の立場として、社会情勢が変化する中でも、当初の目的を見失わずに常に結果にコミットする、その実現に向けて責任を持って取り組むことが大切であると考えています。

問 市政のステークホルダー（利害関係者）の協力を得ることでアウトカム目標達成の可能性は上がるが、ステークホルダーと目標を共有する方策について考え方を聞きたい。

答 市政分野ごとのステークホルダーを明確にし、市の目標の意義を共有し、具体的なアクションを起こしていただけるよう、働き掛けていくことが重要と認識しています。

総合計画においては、政策分野ごとにステークホルダーを示すとともに、その役割などを具体的に

に表すことを考えています。

問 総合計画の主な分野にアウトカム目標を設定する考えについて聞きたい。

答 次期総合計画では、戦略計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略を一本化する方向で検討しています。まち・ひと・しごと創生総合戦略では、KPIを設定し、その指標は原則アウトカム指標を設定していきます。どれだけ成果が得られたかを把握できる適切な指標の設定に努めていきます。人口に関する指標は重要であり、様々な施策のアウトカム目標とするよう考えています。

なお、総合計画を下支えするための財政計画を策定する際には、純資産や資産老朽化比率などの財務諸表の数値を参考にしていきたいと考えています。

用語解説 アウトカム 成果達成度
KPI 重要業績評価指標

その他の質問項目

・新型コロナウイルス禍からの経済復活に寄与する公共施設等の管理の在り方について

スポーツのまちづくり

について



自由民主党豊橋市議団
尾崎雅輝 議員



動画で
チェック!!

問 スポーツのまちづくりの方向性について、また、多目的屋内施設の基本計画策定に向けた基礎調査が行われているが、本市が目指す多目的屋内施設整備の目的、大会規模、整備後の期待する成果について聞きたい。

答 共生社会を踏まえた障害者スポーツ振興の重要性、プロスポーツ振興等によるスポーツの経済的側面のまちづくりへの活用など、スポーツを取り巻く社会環境の変化により、今年度策定する計画においても新たな視点が求められています。スポーツを「する人」「観る人」「支える人」それぞれが生涯にわたってスポーツに関わることで喜びと生きがいを持ち、こうした人たちの活躍や努力により、本市のまちづくりに新たな活力が生まれ、スポーツのまちづくりが一層加速するような計画を策定していきたいと考えています。

多目的屋内施設整備の第一の目的は、喫緊の課題となっている

総合体育館の老朽化や利用の過密化に対応するものです。この対応を機に、本市の目指すスポーツのまちの実現に向けて環境の整備を進めるとともに、市域のどこからでもアクセスしやすい本市の中心部に位置する豊橋公園という立地を生かした、地域経済の活性化とまちのにぎわい創出、さらには防災活動拠点としての活用による災害対応力の強化につなげていきたいと考えています。

大会規模の想定は、今年度行う基礎調査の中で、市民や競技団体等の現在および将来のニーズを踏まえて検討していきます。

整備後の期待する成果については、地域経済の活性化やまちのにぎわい創出などにつながるものと考えています。

その他の質問項目

・NHK朝の連続テレビ小説「エール」のロケ地となった豊橋公園のPRについて



佐原市長の退職金 3142万円について



豊橋だいすき会
長坂尚登 議員



動画で
チェック!!

問 佐原市長は、新型コロナウイルスの影響等に鑑み、給料を任期満了まで約72万円減額している。一方、公約の3期12年の後には、今年度約3142万円の退職手当があり、この8年余で計1億円に迫る。まず、過去の執行状況を聞きたい。

答 佐原市長の退職手当の4年前と8年前の執行状況は、給料に変更がないため、4年前、8年前ともに3142万800円を支給しています。

問 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による市民生活への影響等に鑑み、退職金を減額又は無しとする必要性に対する佐原市長の認識を聞きたい。

答 退職手当については減額を考えていません。



その他の質問項目

- ・新型コロナウイルスによる組織体制や働き方の変更について
- ・新型コロナウイルスの影響を踏まえ、今後のイベントや公共施設に関する対応について
- ・新型コロナウイルスの市民生活への影響について
- ・特別定額給付金に係る事務の実態と、給付の見直しについて

新型コロナウイルスとの共存を 見据えた総合計画について



公明党豊橋市議団
沢田都史子 議員



動画で
チェック!!

問 SDGsを達成するための10年は、「コロナ禍を乗り越えるための10年でもある。豊橋市の未来を決める第6次総合計画」では、SDGsでコロナ禍をどのように乗り越えようとする考えか聞きたい。

答 新型コロナウイルスの感染拡大によって、市民生活は一変することになり、これまでの生活形態から脱却し、「新しい生活様式」の定着が叫ばれるなど、安全安心で快適な市民生活を維持していくことの難しさを痛感しています。

行政においては、感染不安が依然として残る現状にあっても、市民の命の安全を確保するため強じんな保健医療体制の構築に努めるとともに、子どもたちの成長や学びの確保に向けた子育て、教育環境の整備、経済再生と感染防止の両面に配慮した地域産業振興に資する支援策の実施等、市民生活の細部にわたり、持続可能なまちづくりを推し進めていか

なければなりません。この際、さまざまな分野の政策を考えたうえで「誰一人取り残さない」というSDGsの理念をまちづくりに取り入れていくことが、今後更なる困難に打ち勝ち、持続可能性を追求する際の基軸となる考え方と認識しています。

取り残されている人、取り残されそうな人を起点に物事を考えることは、真に経済・社会環境の調和につながり、持続可能なまちの実現に寄与するに違いありません。年齢や性別、障害の有無や国籍等に左右されず、誰もが生き生きと暮らすことができるまちをつくるため、市民や企業との揺るぎないパートナーシップを築きながら、新しい社会の創造、ひいてはSDGsの達成を目指していきます。

その他の質問項目

- ・新型コロナウイルスへの対応策について
- ・自然災害等に立ち向かうための中小零細企業等への支援策について

一 般 質 問

新型コロナウイルスに影響された 飲食店への対応について



自由民主党豊橋市議団
石河貫治 議員



動画で
チェック!!

問 新型コロナウイルス感染症が本市の飲食店に与えた影響とその対応について聞きたい。

答 本市における飲食店数は、経済センサスによると1800店ほどあり、そこで雇用されている方々や取り引きのある納入業者、生産者まで含めると、その影響は広く、相当多くの方々にまで及んでいると考えます。そのため、市では国や県の施策と併せ、資金繰りや固定費の支援により、雇用と事業の継続を全力で支えていきたいと考えています。

また、こうした状況の中、飲食店ではテイクアウトやデリバリー等の新たなサービス、タクシー業者による宅配や、専用サイトの立ち上げなど、他業種と連携した取り組みを実施しています。このような取り組みを支援するため、本市では個店に対して「がんばる飲食店緊急支援補助金」を、共同事業には「消費喚起緊急対策共同事業補助金」を実施しています。

問 飲食店を対象とする補助金

の利用状況と期待する効果、今後の課題について聞きたい。

答 がんばる飲食店緊急支援補助金申請は4件、消費喚起緊急対策共同事業補助金は5件ですが、両制度の問い合わせは1日平均20件以上あります。

こうした支援は飲食店が三密を回避して営業を続けるための新しい生活様式に対応した形態の導入につながるとともに、共同事業により多様な業種と連携した効果的なプロモーション等により、消費を喚起する効果があると考えています。

今後の課題は、感染予防と経済の活性化を両立していくことが重要であると認識しています。

問 これらの補助金について、予算が不足した場合の本市の対応について聞きたい。

答 今後の様子を見ながら、事業者の皆様が困ることがないように、適切に対応していきたいと考えています。

コロナ禍における 本市の業務継続について



自由民主党豊橋市議団
山本賢太郎 議員



動画で
チェック!!

問 保健所における新型コロナウイルスに関する対応状況と業務継続について聞きたい。

答 「新型コロナウイルス感染症医療体制推進チーム」を編成し、帰国者・接触者相談センターの運営、PCR検査センターの設置、医療提供体制の検討などを行いました。人員については他部局からの応援も募り、市役所全体での応援体制を組むとともに、既に退職された専門職の方をアドバイザーとして再雇用するなど、全庁的な応援体制を構築し体制整備を図りました。

問 ごみ収集業務における新型コロナウイルスに関する対応状況と業務継続について聞きたい。

答 収集職員に感染者が出た場合でも業務継続できる計画を定めています。具体的には、直営事業所である東部、南部の環境センターの一方が閉鎖になった場合、もう一つの環境センターが業務を補完し収集を行い、人員が不足する場合は、部内・部局間で作業

員の応援要請を行います。もう一段階感染フェーズが進んだ場合、現在の11分別を緊急避難的にもやすごみ、生ごみ、プラマーク・ペットボトルの3種類に絞った収集に切り替えることも想定しています。

問 消防救急業務における新型コロナウイルスに関する対応状況と業務継続について聞きたい。

答 業務の専門性や特殊性から、市業務継続計画とは別に特殊感染症に備えた独自の計画を策定していますが、新型コロナウイルスに対応するため今年3月に大幅改正を行いました。感染リスクの高い救急現場では、傷病者に対しマスクを着用させ飛沫感染防止を徹底するなど、新たな行動も実践しています。過去に経験のない事態であることから、これまでの計画や常識にとらわれないあらゆる可能性を考慮し、計画や行動等の分析や検証を行い、体制整備を進め業務継続につなげていきます。



第2波等、再拡大に備えた 医療体制について



まちフォーラム
廣田 勉 議員



動画で
チェック!!

問 新型コロナウイルス感染症について、社会活動の制限を緩和した後の再燃が懸念される中、第2波等、再拡大に備えた医療体制づくりについて聞きたい。

答 第2波等により感染者数が急増した場合に備え、感染者の早期の診断と重症患者への対応を中心とした医療提供体制を整備することが必要と考えています。これまでも豊橋市医師会および市内の病院関係者と議論を重ね、その成果として、検査が必要と判断した場合に効率的に検体を採取する「PCR検査センター」を設置し、医師会で運営していたいただいています。また、感染者を受け入れる医療提供体制については、感染者の重症・中等症、軽症および無症状の程度に応じた受け入れ医療機関や宿泊施設を準備していくため、引き続き議論検討しているところです。

問 感染の第2波が懸念される中、発生に備えた検査体制の強化に取り組むことが必要である。最

近では抗原検査キットや唾液を使った検査法など新たな検査技術が検討されているが、検査体制の充実について聞きたい。

答 現在のPCR検査は、検体として鼻咽頭拭い液を用いる精度が高い検査ですが、検体採取の際の感染リスクが高いのに対し、唾液の検査は、患者自身が検体を採取することができるため感染リスクが低く、一般の医療機関でも普及が進むと考えています。

また、抗原検査は結果が15分程度で判明しますが、検体は鼻咽頭拭い液のため、検体採取の際に感染リスクがあり、検査の感度が低いと聞いています。

このように、それぞれにメリット・デメリットがあることから、今後の検査方法に関する動向を注視し、医師会や医療機関の先生方のご意見を聞きながら、必要な検査の導入を検討していきたいと考えています。

新型コロナウイルスの影響を受けた 市民への支援について



日本共産党豊橋市議団
中西光江 議員



動画で
チェック!!

問 現在、県の要請に応じて休業や営業時間の短縮を行った事業者に対し、水道基本料金の免除制度がある。新型コロナウイルスの影響は市民生活全般に及んでおり、本市も県内他市のように、市民への支援が必要だと考える。水道料金免除等に対する本市の考えを聞きたい。

答 新型コロナウイルス対策支援は、それぞれの自治体が実情に応じて異なる対応をとっています。

本市では、昭和59年の水道料金改定以来、県内でも安価な料金体系を維持しながら、きれいでおいしい水を安定的に供給できているものと自負しています。その中で、県からの要請に応じて休業や営業時間の短縮を行った事業者には、水道を使用しない期間が発生したことから、基本料金の免除を行うこととしました。

問 「水道料金を免除してほしい」という市民の声がある。市民生活への支援策として、水道基本料金免除の考えを聞きたい。

答 水道事業は受益者負担を原則に行っており、水道水を供給するために必要な経費を水道料金の収入により賄うことが基本となっています。本市の水道事業は、地方公営企業として新しい技術を取り入れ、常に効率的な経営を行う努力をしており、きれいでおいしい水を安価な料金で供給しています。

また、本市の新型コロナウイルス対策支援は、本当に支援を必要としている方に、必要に応じた適切な対応を行うことを市全体で総合的に判断し、実施しています。

したがって、全ての使用者に対する水道基本料金の免除は、現時点では必要ないものと考えています。

その他の質問項目

・新型コロナウイルスの影響による児童虐待防止の取り組みについて

特集:新型コロナウイルス感染症への議会としての対応

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、豊橋市議会では、これまでさまざまな対応を取ってきましたが、6月定例会では、定例会ならではの取り組みも行いました。

■ 一般質問 ■

新型コロナウイルス感染症の対応に当たる職員の負担を減らす等の理由で一般質問の取りやめを決定した自治体もある中、豊橋市議会では、この状況だからこそ一般質問を行い、具体的な支援策や今後のビジョンなどについて問いただしていくこととしました。

感染拡大防止のため、通常60分の質問時間を40分に短縮するほか、定足数を満たす範囲で議員の途中入退室を可能とし、通告に関連のない部長等の途中入退室を認めることとしました。

■ 一般会計予算特別委員会 ■

委員会室における密集状態防止のため、通常34人で構成される一般会計予算特別委員会の委員数を18人としました。

また、審議時間の短縮のため、委員1人当たりの質疑時間を30分に制限しました。

■ 委員会 ■

議会運営委員会を含む全ての委員会を第1委員会室で開催し、委員1人当たり一つの机となるようなレイアウトに変更しました。

委員席は対面する机を1メートル弱離し、職員側の座席は前後1列空けて着席するようにしました。



月日	時間	会議	場所
8月17日(月)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
24日(月)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
25日(火)		請願・陳情締切り(～17時まで)	
28日(金)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
31日(月)	10時	● 本会議(一般質問など)	議場
9月1日(火)	//	● // (//)	
2日(水)	//	● // (//)	
9日(水)	10時	● 常任委員会(議案審査など)	第2委員会室
	13時	● //	
10日(木)	10時	● //	
	13時	● //	
11日(金)	10時	● 一般会計予算特別委員会(補正予算審査など)	第1委員会室
14日(月)	10時	● 決算特別委員会(決算審査など)	第1委員会室
15日(火)	//	● //	
17日(木)	//	● //	
18日(金)	//	● //	
25日(金)	10時	議会運営委員会	議会運営委員会室
28日(月)	13時	本会議(議決など)	議場



議会を動画で見よう!

●マークの日に、ケーブルテレビで本会議生中継、インターネットで本会議・委員会の生中継を配信しています。市議会ホームページからアクセスしてください。

議会運営委員会室、第1委員会室、第2委員会室：西館7階
議場：西館8階
※日程、場所は変更になる場合があります。

街と共に未来を創造

藤城建設株式会社

愛知県豊橋市花田町字中ノ坪11番地
<http://www.fujishiro-kk.jp/>
 TEL.0532-31-4131 FAX.0532-32-4390

温室・設計施工・修理・解体・農業資材販売

メンテナンズ社

豊橋市問屋町 7-1 1F TEL:0532-33-7333

作物栽培システム
株式会社BHS

豊橋市問屋町 7-1 2F TEL:0532-39-9643

広告

※豊橋市議会だよりに掲載する広告を募集しています。(広告掲載の申込に要する費用は、広告主負担とします。詳しくは市議会ホームページの広告掲載募集要項をご覧ください。)